

んの医師、看護師・スタッフの皆さんと協力し合いながら励んできました。病院の増床・新築移転・透析病棟・老人保健施設設立など前向きな拡大路線で進めてきました。細々と言えば一冊の本にもなりそうなくらい色々なことがありましたが、さりとて個人的にはやり遂げたといった満足感にはそれほどありません。まだ、大事なことをやり残した感がぐぐえませんが、私には原体験がありません。父母から聞いた話ですが、まだ戦時下あたりの頃で私がハイハイしていた1歳にもならない時期、急に腸閉塞になり、おなかにはパンパン、ミルクも何にも飲めず、猿の赤ちゃんのようになってしまうたそうです。父は背中に私をおぶって近くの「船川医院」へ行き、そこで



名誉院長 具 栄作

この「浜風」が皆さんの目に触れる頃、私は浜名病院を退職して、長野県の一山寒村の診療所で働いていることでしょう。

私は昭和60年秋からこの令和5年3月まで約38年間浜名病院で働きました。私の医師人生53年の約7割を過ごしたことになります。また、浜名病院初代院長として、病院の評判と信頼度を高めるため、たくさ

## 浜名病院の発展を祈って

浜名病院広報委員会  
令和5年4月  
227号  
浜名病院ホームページ  
<http://www.hamana-kai.or.jp>

*Hamana Hospital*

**浜名病院の理念**  
浜名病院は人間的な温かみにあふれた医療と介護の先進病院として、地域の皆様に『安心と信頼』を提供する。

病院周辺MAP

父は船川先生から「よくもここまで放っておいたもんだ。」とこっぴどく叱られたそうで、すぐ父の血を私に輸血したそうです。そしてあくる日私が「ブーブー」言いながら元気よくはいずりまわっているのを見つけ、両親は「助かったー」と喜んだそうです。私の近くに沢庵が一片排便されており、父は母に「お前がこんなものを置いておくからこんなことになったんだ。」とこっぴどく叱ったとのこと。1歳未満の子供は何でも口に入れてしまうのが常で、なにも母に非があるわけではありませんが、小学校時代には喉にサバの大きな骨がひっかかり、いくら米粒をそのまま飲み込んでも取れず、苦しみました。近くの重盛先生に取ってもらいました。またある夏の夜、耳にカナブンが入って頭が割れるような苦しみで泣きわめいていた時、耳鼻科の先生にエタノール？か何かを入れてもらって、「明日もう一度来なさい。」と言われ、翌日取ってもらいました。

そんな時のお医者さんの温かい体温を忘れることはできません。こんなことが私の「マチのお医者さん」の憧憬を深めたのでしょう。人生の最終章に入った今、私が医師を目指した原点に回歸し、残された時間をあの頃に感じたやさしいマチのお医者さんのように生きたいと思いました。正直、これで私のいつも感ずる空虚感は少しは薄まるかと期待はしています。

ともあれ、病院を取り巻く環境は厳しさを増しております。しかし、浜名病院は医師・看護師・医療スタッフ不足時代、少子高齢化時代を何とかやりくりしながら乗り越えるでしょう。及川院長を中心に発展していくものと確信しております。私たちが時いてきた種は少しの困難で枯れてしまうほどび弱なものではないと断言できます。



## 検査室・放射線科

正確な診断の為に、  
尽力します。



整形外科 古橋先生

## 医師

及川院長



麻酔科 三村先生



## 外来

救急受診時も安心して診療が受けられる  
ように、側に対応します。



## リハビリテーション技術室

手術後でも・入院中でも・通院中でも  
「あなたらしく、安全に元気に生活してもらう為に」



リハビリ風景



## 看護部

多職種でよりよい  
方法を考えます。



## 病院で



調剤風景

## 薬局

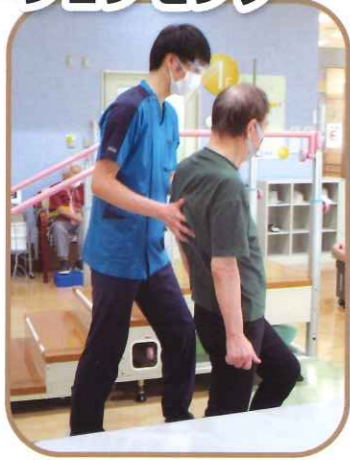
安心・安全に正しく  
お薬が飲めますように…。



## 通所リハビリテーションセンター こでまり



楽しみと運動の機会を  
提供します。



入院中から  
在宅に  
むけて



住み慣れた地域で  
あなたらしく過ごせるために



私たちが応援します



## 訪問看護ステーション はまな

ご自宅へ訪問し、  
療養生活を支援します。



自宅での  
リハビリ風景



自宅環境に合わせた  
運動を考えます。

## 浜名病院健診センター

健康維持は定期的な健康診断から始めましょう。



## 地域医療連絡室

安心して受診していただけるように  
ご案内します。



## 医療福祉相談室

外来・入院中、退院後、療養生活  
に必要な情報を提供します。地域  
の関係者の方と連携し、在宅療養  
を支えます。



## 浜名居宅介護支援事業所

介護保険対象の方の様々な相談に応じます。

介護支援専門員が、  
直接相談にのります。



# 健診センターからのお知らせ **健康寿命**について

日本人の「平均寿命」の長さは世界トップクラスですが、この平均寿命には『健康寿命』といわれる「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と介護が必要となる期間が含まれています。平均寿命と『健康寿命』との差は、男性が8.8年、女性が12.4年と、決して短くありません。  
(厚生労働省ホームページより)

『健康寿命』を延ばして、「介護が必要な期間」を短くし、健やかで心豊かな生活を継続するためには、生活習慣病の発症や重症化を予防し、健康を維持することが大切です。

健診センターでは、自分の健康状態を知るための、**特定健診**や**がん検診**などを行っております。

健診の  
お申込み  
お問合せ

**浜名病院 健診センター** TEL : 053-573-3700 FAX : 053-573-3711

受付時間：月・火・水・金 / 8 : 15 ~ 17 : 00

木・土 / 8 : 15 ~ 12 : 00

※日・祝日・12/30PM ~ 1/3はお休みです

## 新しい職員の紹介

海外から新しい職員が仲間入りしました。//  
日本語は勉強中ですが、優しく・丁寧に対応しており、患者様から喜ばれています。



名前: **アモル**

出身: フィリピン  
(セブ島)

好きな所: 海、ダイビング  
好きな食べ物: 魚



名前: **ジャスミン**

出身: フィリピン

好きな食べ物: 焼肉



名前: **ノアリン**

出身: フィリピン

好きな事: 写真を撮ること

## ICLS認定コース開催



令和5年2月26日(日)浜名病院にて、日本救急医学会ICLS認定コースが初開催されました。

ICLSとは、あらゆる医療従事者のための蘇生トレーニングです。「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を修得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。

当日は、浜名病院や湖西消防本部より受講生が参加しました。当院の麻酔科 三村医師をはじめ、院内・院外からインストラクターも参加し、充実した講習会となりました。今後も継続して開催していく予定です。

## 通所リハビリテーションセンター

### こでまり

ひな祭り工作レク  
折ったり貼ったり切ったり、  
たくさんの利用者様が  
作って下さいました。



3月カレンダー  
菜の花畑を走る  
天浜線をイメージして。



### 受付時間

午前 8:00 ~ 12:00 午後 1:30 ~ 5:30

### 診察時間

午前 9:00 ~ 12:00 午後 3:00 ~ 5:45

休診日: 木曜日・土曜日(午後) 日曜日・祝祭日

時間外救急対応(専門外の場合がありますので、ご連絡ください。)

### 発行

浜名病院

湖西市新所岡崎梅田入会地15番地の70

電話 053-577-2333 (代)

FAX 053-577-2483 (代)

Mail info@hamanakai.or.jp

編集: 広報委員会 委員長: 柴田



各診療において、受付時間および診察時間が異なる場合があります。詳しくは医事課までお問い合わせください。  
外来診療 医師当番表に関しましては別紙またはホームページでご確認ください。